

# 足立区 住基ネットを民間委託

## 総務省「想定外」と難色

東京都足立区が、住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)や住民票など個人情報扱の業務について、書類受け付けや端末操作など窓口業務を民間委託する方針であることがわかった。実現すれば、窓口業務の民間委託は全国自治体で初めて。ただ総務省は「想定外」と難色を示しており、同区は実施に向けた調整を続けている。

同区によると、委託方針の業務は、住民票、戸籍謄本、印鑑証明、課税証明書、住基カード、国民健康保険の被保険者証、介護保険受給資格証明書など。

今年7月、国と自治体

施に向け総務省と協議を続けている。

住民票などの交付申請を受けた派遣社員は、端末を操作し、申請者の名前や住所などを入力後、交付する。同区は「区職員が立ち会って確認することで、個人情報の扱いに配慮する」としている。

【森榎行】